

壁紙施工要領書
- メタリック壁紙③ -

【該当品番】(2013-2017WD)

LY-14750 (ラメ繊維)

■特長

- ・非常にフラットな材料であり、下地を拾いやすくなっています。
- ・たたみジワやキズなどが付きやすい傾向があります。

■下地調整

- ・下地面の不陸を非常に拾いやすいため、下地は出来るだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・ネジ、クギ類の頭には、サビ止めを施してください。(施工後の変色を防ぎます。)
- ・湿式下地(コンクリート打ち放し、モルタル等)の場合、十分に乾燥(水分率11%以下)していることを確認してください。未乾燥状態での施工は、アクによる壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
- ・ケイカル板、粉ふき下地、ペンキ下地、化粧板、スチールパーテーションなど、接着性の悪い下地は、必ず下地側へシーラーを塗布してください。

■接着剤

- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水=10：7にエチレン酢ビ系ボンド10～20%程度を混合してください。
- ・糊付け機械は使用できますが、扱いの際に、つまみジワ等つけないよう注意してください。

■養生・オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間を5～10分程度、施工可能時間は20分以内を目安に作業を進めてください。
- ・タタミジワを防ぐため、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■なで付け・ジョイント

- ・ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ・なで付けの際はやわらかな刷毛を、ローラー掛けの際は、ウレタン製のものを使用してください。壁紙表面のキズ付きを防止します。
- ・ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カーターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態でお使いください。

■その他

- ・施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。